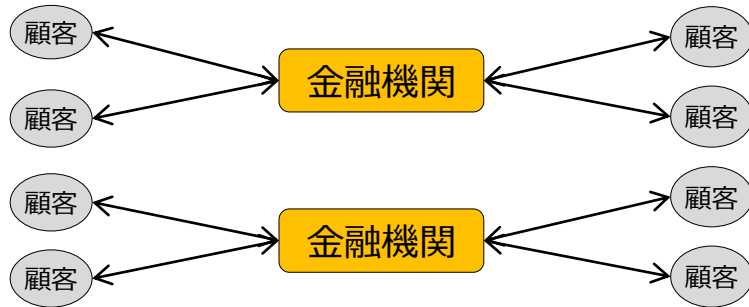
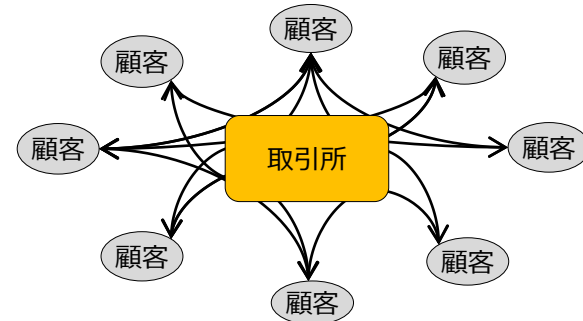


- フィンテックの進展により、金融システムのネットワークの姿は、顧客が金融機関を介したサービスにアクセスする仕組み（「金融機関ハブ型」）から大きく変化していく可能性。
- 金融・非金融のリバンドリングが広がれば、顧客とのインターフェースをつかさどる企業が顧客ニーズに沿ってサービスを組み合わせて提供する仕組み（「インターフェース企業中心型」）がより合理的となる可能性。
- さらには、ブロックチェーン技術による分散処理等が進めば、顧客が直接取引所に参加する仕組み（「取引所型」）やルール設定等を担う仲介役の下で顧客同士が直接取引を行う仕組み（「分散型」）へ変化していくことも。

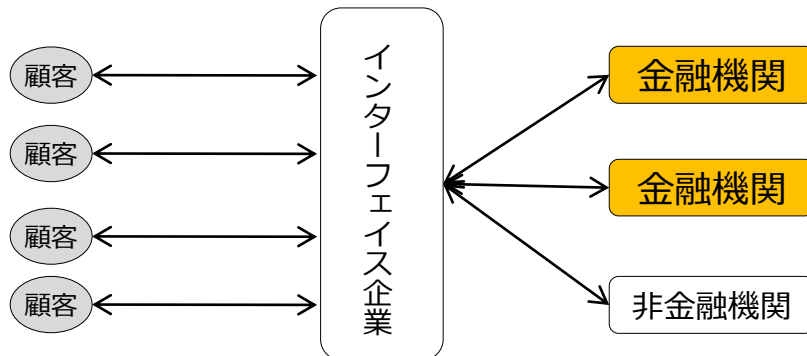
<金融機関ハブ型>



<取引所型>



<インターフェース企業中心型>



<分散型>

